



敗者は市場を去る

令和6年11月22日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

市場原理は、敗者を排除する。グローバリゼーションという潮流において勝者が唯一市場を独占するのである。

これら現実において企業が世界におけるトッププレゼンスを自己に行うことを要求される。これらシステムと技術における企業の確立と完成である。

市場原理は勝者への賞賛と現実を唯一とするのである。これがビジネススタンダードである。

これらが、企業の独立性の構築であり、自由経済システムにおける無限の可能性という未来への参加なのである。

明確に理解することは、企業努力の意味はここに存在するのである。

これら勝ち組クラブにおける経済の安全保障は、未来という現実の占有と創造を権利として与えられるのである。

これが未来の創造の権利なのである。これが、勝者が未来を有することの真実なのである。

この他は、それら現実への隷属を行うものであり、企業の自由な活動は存在しないのである。

これらは自由経済システムへの参加における明確な自己理解として要求される真実なのである。

これら競争原理における敗者は未来を与えることはできなのである。これが共産主義の崩壊の真実なのである。

勝者が唯一世界を行うことは歴史と未来における絶対的な真実なのである。

市場原理は必ず勝者と敗者を有するのである。